

平成 26 年度第 8 回霞ヶ浦自然観察会結果報告

「砂浜で投網体験！！捕れた魚を観察しよう」を実施しました。

開催日時：平成 26 年 9 月 27 日（土）9 時 30 分～16 時 00 分

開催場所：行方市天王崎（稲敷市浮島から当日変更しました。）

参加者：45 名

今回の観察会は毎年この時期に恒例となっている投網体験を取り入れた魚の観察をテーマに行いました。当日は多くの御参加をいただき、バスの定員を超えてしまい、現地に直接集まって頂いた方も多数いました。

この日は絶好の秋晴れに恵まれたのですが、観察地の和田岬に到着すると、強い北東の向かい風で波も荒く、厳しい状況を目の前にして、急きょ風上の天王崎に移動しました。天王崎の砂浜は波もなく、実施に支障はありませんでした。移動に 30 分ほど要したため、まずは投網の前に腹ごしらえと砂浜で景色を眺めながら昼食を取りました。

昼食のあとはお待ちかね、投網体験の始まりです。毎年参加している方から先日の夏まつりで投網を練習した方、今回が生まれて初めて投網に触る方まで、様々でしたが、みなさん楽しそうに投網に挑戦していました。中には大人顔負けの上手な子どもの参加者もいて、まわりを驚かせていました。

当日はワカサギの群れが入っており、かなりの参加者が自分の打った投網で魚を捕ることができました。またほぼ淡水化した霞ヶ浦ではたまにしか見られない汽水魚のマハゼも採取され、多くの参加者の関心を集めました。

最後にみなさんで捕れた魚を観察しました。霞ヶ浦の魚の代表格であるワカサギの捕れたばかりの魚体の美しさには一様に感動しているようでした。

帰りの車中で今日の感想を聞いたところ「楽しかった」「また参加したい」との声が上がり、無事に観察会が実施できたことにほっとしました。

急きょ、場所の変更はありましたが、無事に観察会を行うことができました。参加者のみなさん、パートナーのみなさんありがとうございました。

環境活動推進課 福井正人



白波の立つ和田岬の砂浜

急きょ、天王崎に移動することにしました。



天王崎の砂浜はベタなぎ

昼食も早々に
波打ち際に集まります。



投網のレクチャーを受けていざチャレンジ！



マハゼです



最後はさかなのお勉強です



気分は漁師

観察した魚類・甲殻類

ワカサギ, シラウオ, マハゼ, ボラ
ヌマチチブ, ブルーギル, テナガエビ